

## 平成16年度の主な事業

調査・研究	<p>基礎的な調査・研究の推進</p> <p>美術及び美術史、演劇、音楽、民俗芸能に関する研究  (中国に所在する古墳、寺観、石窟寺院などの壁画を調査し、文献資料と比較研究等)</p> <p>平城宮跡及び飛鳥藤原宮跡の発掘調査等  (第一次大極殿地区等 収集資料数 6,267件 記録作成数 675件)</p> <p>平城宮跡及び関連遺跡の出土遺物・遺構に関する調査等  (出土遺物・遺構の整理、分析研究、図面・写真作成及び遺物の保存処理の実施)</p> <p>歴史的建造物・伝統的建造物群の調査研究  (『木造建造物の保存修復のあり方と手法』について、第5回アジアの建築交流国際シンポジウム(日中韓の3建築学会共催)で発表等)</p> <p>南都諸大寺等の書跡資料等、歴史的環境に関する調査研究  (記録作成数967件、収集資料数 15件)</p> <p>実践的な調査研究</p> <p>調査・研究方法等の開発に関する調査研究  年輪年代測定法の開発研究、動植物遺存体による環境考古学研究(標本作製:118点、論文等件数:20件 学会発表:6件)</p> <p>新たな保存修復技術・方法の開発に関する調査研究  画像形成技術の開発に関する研究、光学的手法による美術工芸品の彩色に関する研究等</p> <p>文化財の活用手法に関する調査研究  遺跡の保存工学的研究、近代の文化遺産の保存修復に関する調査研究等</p> <p>国際交流・協力等の推進</p> <p>文化財保存修復研究国際センター(ICCROM)と共同の国際修復研修事業の実施  (9月13日～10月1日 受講者数 12名(ドイツ、イタリア、ベトナム等海外10名、国内2名))</p> <p>アジア文化財保存セミナーの実施「文化遺産の将来像と保護制度」  (10月25日～29日 受講者数 15名(韓国、フィリピン、スリランカ等海外7名、国内8名))</p> <p>西アジア諸国等文化遺産保存修復に関する調査研究・技術移転・人材育成事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アフガニスタン文化財専門家研修事業(9月27日～12月24日、4名)</li> <li>・ バーミヤーン遺跡仏教壁画の年代測定、「バーミヤーン遺跡保存に関する第3回専門家作業グループ国際会議」開催(12月18日～20日)</li> <li>・ 「国際シンポジウム 世界遺産バーミヤーン遺跡を守る」開催(12月21日)</li> <li>・ 「バーミヤーン遺跡仏教壁画片」の顔料分析、中央アジアの壁画調査、イラク文化財専門家研修事業(10月29日～12月18日、2名)等</li> </ul>
資料の作成・公表	<p>定期刊行物、研究報告書の発行、講演会・シンポジウムの開催</p> <p>『美術研究(第383号～第385号)』、『日本美術年鑑』(平成15年度版)、『東京文化財研究所年報』、『奈良文化財研究所紀要』、『東文研 NEWS(No17～20)』、『奈文研ニュース(No13～16)』、『第16回国際文化財保存修復研究会報告書 叢書「文化財保護制度の研究」“文化的景観”の意義 - その保全、管理、今後の課題 - 』、『文化財保存修復研究協議会報告書』等の発行。美術部オープンレクチャー、芸能部公開学術講座、発掘調査現地説明会等の開催</p>
情報・資料の収集・整理・提供	<p>文化財関係資料、図書の収集・整理・公開・提供</p> <p>外国の文化財や文化財保存の現状および理念、文化財保存関連機関、文化財保護制度、日本及び諸外国の文化財保護関連法令、各種文化論などの分野において、書籍や映像資料、デジタルデ</p>

	<p>一々の購入、資料交換などにより資料室の充実を図り、資料閲覧室を利用し公開した。  (図書等受入総数 57,245件 目録所在情報公開件数 660,690件 )  伝統芸能の画像・音声・映像資料、文化財保存に関する国際情報の収集及び研究のデータベースを作成し公開した。</p>
研修等	<p>埋蔵文化財発掘技術者研修(一般研修1課程、専門研修8課程、特別研修5課程 計14課程)  研修日数 39日間 受講者数 186人  博物館・美術館等の保存担当学芸員研修(総論、文化財材質調査、温湿度管理、保存環境に関する講義と実習、紙や油絵、考古資料の修復についての講義)  7月6日～7月16日まで 11日間 参加者数 31名  1月27日、28日 2日間 参加者数 67名(静岡県立美術館)  東京芸術大学(2名)、京都大学(9名)、奈良女子大学(3名)との連携大学院教育  ( )受入学生数</p>
援助・助言	<p>文化庁が行う事業に関する専門的・技術的な援助・助言  平城宮跡整備における文化庁内の検討会議へ参画、設計指導援助等  藤原宮跡整備基本計画策定に対する援助・助言  キトラ古墳の発掘調査の実施、壁画保存のための壁画取り外し作業の開始  高松塚古墳の発掘調査の実施、屋外に気象観測ステーション等を設置し石攪内の環境調査の実施。  地方公共団体等が行う史跡の整備、復原事業等に関する技術的助言  金石城跡(長崎県対馬市)、常陸国茨城県石岡市常陸国衙跡(茨城県石岡市)、栄町遺跡(福島県須賀川市)、幡羅遺跡(埼玉県深谷市)、島戸東遺跡(千葉県成東町)等</p>